



〈目指す学校像〉

～そこに美がある～「挨拶・清掃・歌声」を大切にする学校

2学期、実りの秋～一步一步を着実に！

例年になく、猛暑・酷暑が続いた今年の8月。あまりの暑さに「何もする気が起こらなかった」という人も少なくないのでは……。さて、皆さんにとってはどんな夏休みになりましたか。

夏休み前に、中学校時代の3回しかない夏休みは学年ごとにその意義、目標設定も異なるため自分にとって「今年の夏休みはこれをやる！」といった期待と楽しみの気持ちを込めて、一人一人が自分のために貴重な時間を使ってもらいたい、と書きました。皆さんの「やってみた何か」は何でしょうか。

1, 2年生は部活動などで暑さとの戦いがあったかもしれませんが、その夏を乗り切ったという思いもあるでしょう。また、3年生は進路選択に向けて、学校説明会や体験入学会など、足しげく回ったという人もいるかもしれません。そのようなときに、これは『その先につながる頑張り』だと実感出来ていたならばいいですね。5月の全校朝会で、『うまいく人はプラス思考』、という話をしました。「どうせだめだろう」とか「意味がないのでは」などと考えて、最初からあきらめてしまわず、「何とかなる」「絶対うまいく」という前向きな姿勢があれば、できる可能性や実現につながります。

2学期、季節は秋。一年のうちでもっとも何をするにもよい季節とされています。よく、秋の声という表現をします。風の音・水の音・鳥の声・人の話し声などいろいろな音があると思いますがそれらは肌で感じることやおいで感じるなど、聞くことだけでなく五感を働かせることも多いでしょう。しかし、それは心にゆとりがあったり、前を見るポジティブな姿勢があったりしないと感じられないかもしれません。ぜひ、2学期はそのような前向きな姿勢で、一步一步着実に実践していける学期にしてほしいと思います。 **《為せば成る 為さねば成らぬ 何事も》**

《ふるさと大東》 コミュニティスクール・地域の教育力・連携のかたち

今年度から始まった学校運営協議会（コミュニティスクール）。6月のプールクリーンボランティアをはじめ、7月には隣接する県立川越南高校との連携で中学校3年生への学習支援として、夏休み初めに11人の高校生が本校で3年生の学習をみてくれました。今後も芸術教科や部活動の連携等も実施する予定です。このコミュニティスクールは多方面からの学校支援を推進していきます。

また、8月26日（土）に行われた大東地区子どもサポート主催《大東子どもフェスティバル》には卓球体験ブースに本校の卓球部からも男女それぞれが参加して小学生に卓球指導を行いました。コロナ禍で見送っていたことも徐々にできたり新たなことが生まれたり、地域の中における中学生の取組もまた広がっていきそうです。

さらに地域の教育力として、今年も「青少年を育てる大東地区会議」の方々による夏休み非行防止地区巡回パトロールが行われ、夏休み中の子どもたちの安心安全を見守っていただきました。本当にありがとうございました。皆さんのふるさと《大東》のよさ、地域の方々の方々の力、そして歴史と伝統など、大東中の生徒としても大いなる自慢ですね。地域の皆さんに心より感謝します。

9月1日防災の日 《防災週間 8/30～9/5、津波防災の日 11/5》

8月30日、清掃時間中に大地震が発生したことを想定して、避難訓練を実施しました。災害発生は授業中だけとは限りません。いつでも最善の避難行動がとれることが大切です。地震の場合、学校の校舎が一番安全とされており避難行動は校舎内となるため、それを踏まえて実施しました（地震→火災発生の場合は外に避難）。また、9月1日は関東大震災が発生した日として防災の日に制定されています。災害時は大東中学校も指定避難所となるため、川越市役所と連携して防災タイムラインを作成し、災害に備えた準備をしています。皆さんも日頃の災害対策を意識して、家族で避難時の集合場所を決めておくなど、もしも災害が起こったら…について、確認をしてみてください。